

窯業同窓会・見学会報告

平成25年11月20日、標記見学会が実施された。本見学会は、当初10月16日に実施される予定であったが台風26号に見舞われ、再企画された。例年、修士1年の学生さんと一緒にバスを仕立てて見学していたが、延期の日程調整が出来ず、学生さんにとって貴重な工場見学の機会を実現できなかった事は同窓会として大変残念であった。

今回は、天候に恵まれ、台風も地震も列車のトラブルもなく、参加者一同有意義な一時を過ごす事ができた。即ち、上州富岡駅に現地集合し、世界遺産申請中の富岡製糸場を見学した。明治5年に建てられた和洋折衷の木骨煉瓦造りの建物と、蒸気機関による繭の自動繰糸機を見学し、大量生産の幕開けを感じる事が出来た。

続いての見学先は、(株)IHIエアロスペース社。ロケット飛翔体の開発と製造販売を行っており、9月にイプシロンロケット一号機の打ち上げに成功したばかりの会社である。河西氏と松浦氏（1989年無機材料卒）の案内で、糸川博士のペンシルロケットの開発からM-Vロケット、更にはイプシロンロケットに至る開発史をレプリカとミニチュアや一部現物を見ながら、固体推進薬の難しさを聞き、ロケットや衛星の姿勢制御の装置を見学した後、工場ではCFRP製ロケットモーターケースの製造現場を見てその大きさを実感した。この中に、約65tonの固体推進薬が入り、2分という短い間に一気に燃やす事を想像すると、モーターケースは猛烈な温度と圧力によっても耐えるのだと感心しきり。続いて姿勢制御の各種スラスト等を作製する為にプラスチックや金属加工の特級技能士を何十人も養成していることを聞き、量産企業とは違った、単品生産の特殊技術集団である事を知り、また感心。国民の夢を載せてロケットを飛ばし続けて頂く事をお願いし、一緒に記念写真撮影。その後、

会社のバスで高崎駅に送ってもらい、駅近くの呑屋で尾瀬の新酒の一升瓶を傾けながら、皆で鍋をつついて歓談した。

（安田榮一記）



東京工業大学・窯業同窓会 見学会 2013.11.20 (株)IHIエアロスペースにて